

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場でございます。
 初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎
 滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれている
 といわれるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句 1

蝶つかむ 明日も 明日も 春休み

岩沼市立岩沼中学校

高橋 啓太

季語は「春休み」。学年末の休暇である。「蝶」も春の季語ではあるが、「春休み」という季語の方が「強い」ので所謂「季重なり」の心配はない。宿題もない「春休み」の気楽さである。

(鳴立庵庵主 本井 英)

今月の俳句 2

筍や生徒会長 立候補

茨城県立下館第一高等学校付属中学校

篠崎 りあん

季語は「筍」。「旬」は十日の意。十日で「竹」になってしまつので「筍」と書く。ずんずん伸びる「勢い」に「生徒会長立候補」の気分がある。

(鳴立庵庵主 本井 英)

今月の短歌

海の前にどんな景色があるのだろう
 考えながら 瞳をとじる

岩沼市立岩沼中学校

石澤 美尋

海岸で海を見つめているのでしょう。あるいは、海を舞台にした物語を読んでいるのかもしれない。いずれにしても、作者に見えているのは、ただ広々として果ての無い海の風景。作者は、海の向こうの景色をさまざま思い浮かべます。想像力が動き出すのはこういうとき。海上を豪華客船が次の寄港地へ向かっているのでしょうか。水揚げされた魚が島の港に運び込まれているのでしょうか。大陸の都市に高層ビルが立ち並んでいるのでしょうか。「瞳をとじる」が、さらにイメージを膨らませ、頭の中は現実をこえた豊かな空間です。

(西行祭選者 今井 恵子)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

講師 対象 定員 費用 持ち物 申込み

講座名	日程	時間	備考
吊るし雛飾り	1月6日(火)～ 2月28日(土)	9時～16時	様々な願いを込めた吊るし雛飾りの展示 費入庵料
伝筆	1月25日(日)	10時30分～正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子 氏 対中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
茶と遊ぶ	2月14日(土)	10時～正午	大磯の偉人たちのティータイム～偉人にちなんだお茶を飲みながら～ 講高野 幸代 氏 定10人 費2,500円(お茶菓子付き・入庵料込)

「めいどいん おおいそ」に
 あなたの産品を
 登録してみませんか？

問大磯らしい潤いづくり協議会(大磯町商工会)
 ☎(61)0871



「めいどいんおおいそ」とは

大磯町の様々な魅力ある地域資源を活用し、「食べたい」「買いたい」「見たい」「触りたい」「行きたい」となるような大磯の魅力を『ご当地太鼓判』として発信することで、消費者や来訪者に満足と感動を提供し、地域経済の活性化に寄与する制度です。

登録品になると、様々な特典が活用できます！

- 「ご当地登録産品ロゴマーク」シール・ステッカー等の活用
- 大磯らしい潤いづくり協議会が作成する冊子や施設等での周知・販促
- 大磯町商工会、大磯町観光協会ホームページ等での周知・販促
- 大磯らしい潤いづくり協議会が実施するイベントへの優待出店

ぜひ登録お待ちしております。